

水がある暮らしに感謝！ 感謝の気持ちを「節水」に

2016年熊本地震において被災された皆様へ、謹んでお見舞い申し上げます。
被害を受けられた皆様の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

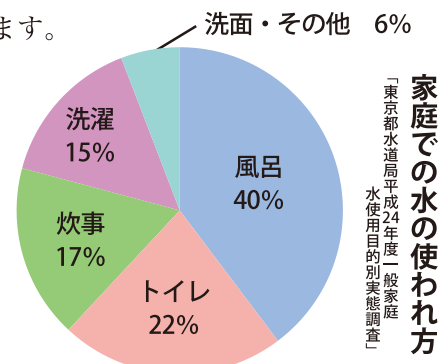
熊本市は、水道水の100%を地下水でまかない、渇水の経験が一度もない、水に恵まれた都市でした。しかし、この度の地震で、ライフラインの寸断による長期間の断水を初めて経験しました。

水のない生活に市民からは「飲み水よりトイレの水がほしい」「お風呂に入れずツラかった」との声があがりました。実は、私たちの生活用水の約9割はトイレやお風呂、炊事、洗濯に使われているのです！

▼ 給水する様子

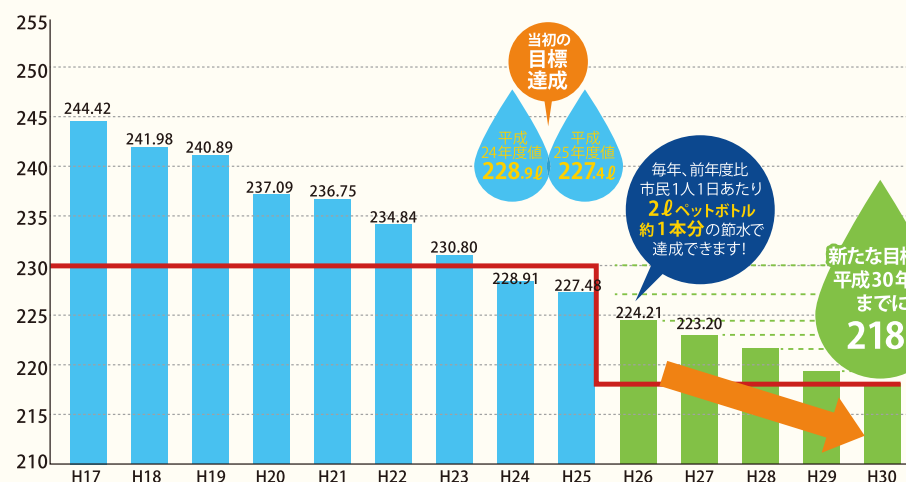


熊本市では、平成17年度から熊本市民総参加で取り組む節水市民運動を展開しています。これは、都市化の進展と米の生産調整により、低下しつつある地下水位を回復させるためです。熊本市の1人1日あたり生活の水使用量は、少しずつ減少しており、平成27年度は223ℓ。目標は、平成30年度までに、九州の主な都市の平均である218ℓまで減少させること。これが「節水218運動」です。



家庭での水の使われ方

熊本市民 1 人 1 日あたりの生活の水使用量



私たちは水なしでは生活できません。水へ感謝の気持ちを「節水」で表現することで、もっと上手に水と付き合っていくことができます。皆さんで節水に取り組みましょう！



節水はお財布にもやさしい！

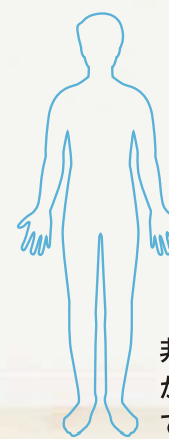
1カ月10%の節水で、
1年間で上下水道料金が
約 **6,000円** 以上節約！

※4人家族で1カ月の上下水道料金が7,250円の場合

上下水道料金 = 基本料金 + 使用した水量



災害と水に
まつわる話を
ご紹介します。



約 **3ℓ**

※体重60kgの成人の場合

1日生きて
いくために
必要な水の量

非常時は3日分、余裕があれば5日分準備しておくといでしょう。

普段から家に保存しておいて、古くなったら使って買い足す、というローリングストック法で、常に家に備えておきましょう。

ペットボトルのサイズ、いろいろ

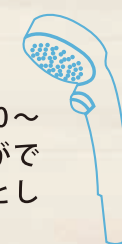
500ml
1.5ℓ 2ℓ



約 **100~200ℓ**

非常時に備えて、
お風呂に水ため

一般的にお風呂に約100~200ℓの水をためることができます。生活に必要な水として活用できます。



トイレ、お風呂、炊事、洗濯、洗面などに必要な水の量。人が1日生きていくための水量の100倍必要です。

1日生活していくのに
必要な水の量

約 **300ℓ**



「節水」＝「水の無駄遣いをやめて、正しく水を使うこと」
水を正しく使えていますか？

避難生活中、水が出ないから、と水を飲むのを我慢していませんか？人間の体は、水を作りだすことはできません。水分を我慢することは「節水」ではありません！飲用水は生きていくための「必要な水」として省いてはいけません。

他にも、体を洗ったり、服を洗ったり、食器を洗ったり…「必要な水」があります。しかし、その中には再利用できる水もあったり、ちょっとした工夫で無駄を省くことができます。

節水チェックリスト

- ☒ 洗面器に水をためて洗顔 (1分間で約6ℓの節水)
- ☐ 食器はため洗いやつけおき洗いをする (1回で約80ℓの節水)
- ☐ コップにためた水ではみがき (1分間で約6ℓの節水)
- ☐ 蛇口はこまめに開け閉めを行う (1分間で約6ℓの節水)
- ☐ トレイは大小レバーを使い分けて、1回で流す (1回で約6~10ℓの節水)
- ☐ シャワーはこまめに開け閉めを行う (1分間で約12ℓの節水)
- ☐ お風呂の残り湯を洗濯に使う (1回で約100ℓの節水)
- ☐ 洗車のときはバケツにためた水を使う (1回で約190ℓの節水)

わくわく節水
倶楽部

わくわく
節水倶楽部
の入会状況

平成27年8月末現在
142,188人

(団体 202、事業者 387、行政機関 13、個人 1,282)